

キャリア開発演習Ⅰ 授業見学

留学生教育センター 特任准教授
修士（教育学） 橋本 琢

「キャリア開発演習Ⅰ」では、狩野先生が論作文を取り扱いました。論作文の授業はあまり経験がなく、とても厄介だと思っていました。

まず、配布資料のテキストを読み、総長先生が重要ポイントを指摘してくれました。これで受講者及び、授業見学の教職員も随分と頭が整理されたように思います。それと同時に、重要部分には線が引かれ、そこを讀んできちんと理解をする時間が設けられました。この作業を通じて、おぼろげながら問題の全体像が浮かんできたように思えます。そしてその後、下線が引かれた重要ポイントの例示と及び、簡潔な解釈へと移りました。これら一連の作業を経て、実際の論作文の作成に取り掛かります。この時点になると、ある程度、論の骨子が見えてくるように思えました。

文章の理解とそれに基づいた論作文の作成は、私にとってはかなり厄介な代物です。その点、総長先生は的確な例示で、重要ポイントに得心がいくようにご説明をくださりました。このように文章化してみると、そのプロセスは単純明快です。ただ例えば、重要ポイントの抽出や例示の仕方は、一朝一夕にできるものではないことを知りました。今回の授業を担当した狩野先生も、その点にそうとう手こずっていたように見受けられました。もちろん、説明するのは左程困難ではなかったでしょうが、単純明快にわかりやすく説明することは、口で言うほど簡単ではありません。またその後、説明を聞いた受講者の腑に落ちる例示もなかなか容易ではありません。授業を見学しながら自分の中でシュミレーションを試みましたが、巧くはいかなかったというのが正直なところです。そして、ある程度の訓練を積む必要性を実感しました。

本日の論作文作成の授業を拝見して学んだことを、自分が論作文の授業を担当した際に十分活かしきれぬか、現時点ではほとんど自信がありませんが、きちんとした将来像が描けると同時に、社会に大きく貢献できる職業である公務員になるという受講生たちの夢の実現のため、尽力していこうと思います。